

～ しばかし社会科通信 ～

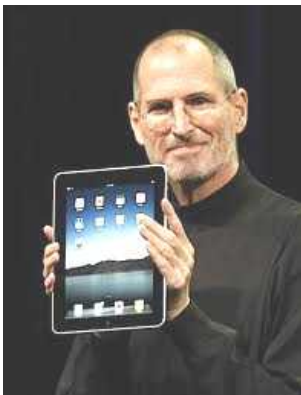
最近の時事ニュースから 44号

2011年11月11日 芝浦工大柏中学高等学校社会科

i P h o n e で社会を変えたジョブズ氏死去

10月5日、米アップル社のスティーブ・ジョブズ前最高経営責任者(CEO)が56歳で亡くなった。アップル社はウェブサイト上に「アップルは先見性に富み、創造力にあふれた天才を失った。そして、世界はすばらしい人物を失った」と告知。また、アップルの社員は「彼の精神は永遠にアップルの礎となるでしょう」と述べ、優れた指導者の死を悼んだ。

カリフォルニア生まれのジョブズ氏は、1976年に米国シリコンバレーでアップル社を創立。それまで市場になかった製品やサービスを創造し、パソコンをより親しみやすく使いやすいものにしてきた。社内の経営幹部の対立で一時アップル社を追われ、10年近く会社を離れていたが、1990年代後半、アップル社の経営危機の際に顧問として復帰し、世界を驚かせた。



アップル社を離れた間に、ジョブズ氏はピクサー社と NeXT 社を起業。ピクサーは世界初の CG アニメーション映画「トイ・ストーリー」を製作し、NeXT はこの後に展開されるアップル製品の中核となる技術をつくりあげていた。

復帰後、独自パソコンの「Mac(マック)」を軸に、携帯音楽プレーヤー「iPod」やスマートフォン(高性能携帯電話)「iPhone」など、さらに独創的な製品を発表してアップル社の再建に成功し

「愚か者であれ！」大学卒業式演説

ジョブズ氏は2005年、米スタンフォード大学で卒業生に対してのスピーチで、人生観を以下のように語った。

まずは、点と点をつなげることが大事です。私は大学を卒業したことはありません。大学に通ってもやりたいことが見つかるとは思えなかったのので、退学を決めました。自分の興味のままに潜り込んだ講義で得た知識が後にかけてあげがたいものになりました。

30歳のとき、私はアップルを追い出された。本当に辛い出来事でした。しかし、これは、人生で最も幸運な出来事だったのです。それは、人生で最も創造的な時期を迎えられたからです。偉大なことをやり抜くただ一つの道は、仕事を愛することでしょう。

私は毎朝鏡に映る自分に問いかけます。「もし今日が最後の日だとしても、今からやろうとしていたことをするだろうか」と。「違う」という答えが何日も続いたら、ちょっと生き方を見直せということですね。ドグマ(独断的な意見)にとらわれてはいけません。それは他人の考えに従って生きることと同じです。何より大事なのは、自分の心と直感に従う勇気を持つことです。卒業して新たな人生を踏み出すあなた方にもこうあってほしい。

ハングリーであれ、愚か者であれ。

stay hungry, stay foolish

た。ジョブズ氏の功績は、単にヒット商品を生み

出したことだけでなく、インターネットとハードを融合させ、現在の音楽や映像などコンテンツ(情報の内容)の流通形態や人々の生活、ワークスタイル、子供の教育手法までも一変させた点にある。

強烈なカリスマを失ったアップル社が、今後とも既存の枠組みにとらわれない製品を出し続けることができるのか、注目される。

歴史のおもしろ話：蚕は偉大だ！

カイコ蛾は幼虫が蛹(さなぎ)になる時に繭(まゆ)を作りますが、この繭玉から繊維を取り出して糸にしたのが「生糸(きいと)」です。その生糸をアルカリ性の薬品(石けん・灰汁・ソーダ等)で、「精練」という作業をし、生糸の外周部を覆っている「セリシン」というタンパク質を取り除いたものが「絹糸」です。この絹糸の織物は肌触りがよく独特のしなやかさがあるため、生糸は古くから珍重されるようになりました。



さて、養蚕の方法や絹織物は古代中国人が発見し開発したもので、前漢の時代には蚕室の温室方法や蚕卵の保管法

が確立していました。中国以外の地域では、絹の製法がわからず、中国からの輸入に頼っていました。これがユーラシア大陸における「絹の道(シルクロード)」という交易路の名づけの由来となりました。まさか上の「毛のない毛虫」のような蚕が、美しい糸を吐き出すとは夢にも思わなかったからだと想像できます。

現在、様々な化学繊維が作られています。絹糸に匹敵するものを合成することがまだできないのが実情で

す。蚕はあの小さい身体そのものが、ハイテクプラントなのです。蚕は偉大ですね。



アフリカ初の女性大統領にノーベル平和賞

2011年度のノーベル平和賞に、イエメンのタクワル=カルマン氏と、リベリアのエレマ=ボウイ氏やエレン=サーリーフ氏のアフリカ女性3人が選ばれた。彼女らは**非暴力活動によって女性の権利と平和構築に大きく貢献した**。カルマン氏(32)はイエメンのジャーナリストで、6年も前から自由を求める呼びかけを毎週行って、今年春からの大統領退陣運動が平和に進むのに貢献した。ボウイ氏(39)は、リベリア内戦の終結と女性の参政権確保に活動し、サーリーフ氏の当選に貢献した。サーリーフ氏(72)は、2006年にアフリカ初の女性大統領となり、女性の地位向上と権力者の不正と闘う強い信念を持つことから、「鉄の女」とも言われてきた。(英国のサッチャー首相(1979 - 90 在職)がこう呼ばれていた。)



リベリアは、解放されたアメリカの黒人奴隷が1847年にアフリカ西海岸で建国した国で、人口4百万人。国名の由来は英語の「自由(liberty)」である。政府機関の利権争いと民族対立から1989~96年と1999~2003年に内戦を経験した。リベリアをはじめアフリカの多くの国で、女性は家事がきつい中で重労働を担っているの、教育を受ける機会が少なく識字率がきわめて低い。こうした男性優位社会が、内戦や独裁などの政治の混乱と貧困を引き起こしてきたのである。この中で、女性たちが自由と平和獲得の活動へ参加することによって、部族間争いの暴力にあけられる**アフリカの男性優位社会の変革**が期待される。これが、ケニアの環境活動家マータイ氏が

2004年アフリカ初のノーベル平和賞を受賞したのに続いて、「アラブの春」が始まった2011年に、3人のアフリカ女性へノーベル平和賞が贈られた狙いだらう。

サーリーフ大統領は、米国ハーバード大学で修士課程を修了し、1970年に**アフリカ女性初の大臣として財務大臣**となった。大統領暗殺によりケニアに亡命。その後、上院議員選挙に立候補するが、自宅軟禁、禁固刑に処されたために米国に亡命した。1997年に大統領選で落選するも、内戦終了後の2005年の大統領選で当選という、紆余曲折を経ながら民主主義実現のために闘ってきた。こうした「鉄の女」サーリーフ大統領は、男女格差が根強い中で女子教育の普及と女性保護に尽力するだけでなく、経済発展の新たな改革を行った。それは、発展途上国リベリアで紛争が耐えない原因である、資源をめぐる利権争いの解決である。

サーリーフ大統領は、**EITI(採取産業透明性イニシアティブ)**に参加し、**リベリアをアフリカ初の全基準合格の国にした**のである。EITIは、国内の石油・ガス・鉱物資源等の開発に関する、先進国の採取企業から政府への資金の流れが、誰にでも見える透明性を持つようになる仕組みである。今までは、途上国の鉱物資源という富が一部の政治家だけに流れて、貧しいまま利権をめぐる争いが続いてきた。こうした腐敗や紛争を予防して、資源の活用が成長と貧困削減につながるようにする多国間協力の枠組みがEITIである。彼女は、リベリア内の資源の流通や売買を目に見えるようにして、腐敗を減らし国内の格差や紛争の種をなくそうとしたのである。

こうした新しい発想は、**リベリアの原住民出身でありながら欧米の教養も身につけ、二つの文化を結びつけられる**、サーリーフ大統領の個性と愛国精神から生まれたと言えるだろう。そうした姿勢が、今回ノーベル平和賞受賞となったのである。

歴史のおもしろ話：日本の打製石器

日本における旧石器時代の研究は、岩宿遺跡の発見から始まります。1946年、相沢忠洋という一人の青年が、丘陵の切り通された赤土の崖で数個の石片(打製石器)を発見しました。

(写真は岩宿遺跡の石器を見ている相沢像)この赤土は

関東ローム層と呼ばれる、1万年より前に火山の噴火で堆積した火山灰です。当時日本列島に人類が住んでおらず、人の痕跡をもつ遺物が発見されるはずがないと考えられていました。相沢忠



洋は、この既成概念にとらわれず、自分で確かめた事実を信じたことから、明治大学考古学研究室が本格的な学術調査を行って、旧石器であることが確かめられました。一人の青年の探究心が日本文化の起源を明らかにし、旧石器時代の研究が始まったのです。



ところで、打製石器を作るのを簡単のように思いませんか。しかし、ただむやみに石を叩いても生活に使えるような石器にはなりません。そもそも、そのへんどころがっている普通の石から石器がつくられたのではなく、きれいな薄片がはがれる石、多くは黒曜石からつくられています。だから、特定の場所で見つけてこなければなりません。さらに、薄片を叩

き出して加工するにも技術がいります。60度の角度で叩くと薄片が割れるという性質があるのですが、これが結構難しいのです。本校の社会科教員が挑戦していますが、まだうまくつくれないようです。熟練に乞う期待。